

夏休みが終わりました。

有意義に過ごせましたか？さあ また頑張ろう。

何事にも全力で取り組むことが一番大切です。

体育大会・文化祭など学校行事にも力を入れよう！

◆第2回 進路希望調査に向けて

★こんなところに気をつけて

8月下旬に「第2回進路希望調査」を実施します。そのときになって、悩んだり迷ったりすることのないよう夏休みの間に参加した体験や説明会の情報をまとめておきましょう。

記入に際しては、1番行きたい学校を第1希望にして下さい。そして「第1希望を、1番合格する可能性の高い方法で受験する。」これが普通の考え方です。

全日制 公立 前期選抜 前期選抜は、1つだけ…

①希望校の欄

公立の入試制度改革で、全ての学科・コースで前期選抜が実施されます。しかし、希望できるのはたった1つだけです。（第二希望ありません）また、学科によって募集の割合が定員の30%～100%まで様々です。自分が希望する学科の募集定員の割合もよく確認しておきましょう。

②学科ごとの募集割合

・普通科は、定員の30%（中期選抜のほうが募集定員が多い）

・職業に関する専門学科 定員の70%

（前期から受検したほうが有利。しかし、届かなかった場合でも、もう一回チャンスがある。）

・その他の専門学科 定員の全て

堀川の探究学科群や、西京のエンタープライジング、嵯峨野の京都こすもす、桃山の自然科学などの専門学科及び、スポーツ総合専攻（旧Ⅲ類体育系）は、前期選抜で、定員の100%を募集するので、中期選抜では受検することができません。

③受検方法

前期選抜には大きく3通りの受検形態があり、1つの学科で複数の受検形態が用意されているので、自分の希望する学科が、どの選抜方式を採用しているか、詳しく調べておきましょう。

A方式：学力検査＋報告書

B方式：報告書＋作文・面接

C方式：学力検査＋報告書＋実技検査

詳細は、学校ごとに微妙に異なります。選抜要項に細かく説明されているので、各自でよく調べておきましょう。

全日制 公立 中期選抜 … 3つまで希望が可能です。

①希望校の欄

希望は「第1志望 第1順位」「第1志望 第2順位」「第2志望」の3つまで記入することができます。
合否の判定は、第1志望 第1順位が優先され、第1ステップで中期募集人数の90%を合格とします。

②合否判定

次に、第2ステップで残りの10%を第1順位の残りの受検者と、他校を第1順位で受検し不合格となった者を併せた中から、上位の者が合格となります。この段階で、定員が埋まらなかった場合は、第2希望の者の中から定員が埋まるまで合格となります。（第2希望が生かされるのは、定員割れが起こった場合だけです）

前回の調査で気になったこと

①何よりも期限内に全員が提出できなかったことです。

年末から始まる進路事務は1日の遅れも許されません。場合によっては、受験できないという事態も引き起こしかねません。（提出先の学校等は一切待ってくれません）いろんな理由があるでしょうが、予定をきちんと把握し、提出日の前日や当日になって、バタバタしなくていいようにすること。

②入試の制度・記入にあたってのルールが守られていない。

記入にあたっては、説明のプリントをよく読み、記入すること。（これも願書を記入する練習です。）
まだ検討中なのかもしれませんが、入試の制度を理解して記入すること。わからなければ担任の先生に相談を。

③自分の希望する学校のコース名を学校に応じて「正しく」書く。

例えば、京都学園 普通科 … こんなコースはありません。 正しくは「京都学園 進学コース」

◆五ツ木模試申し込みについて（3年）

第3回の五ツ木模試（10月実施）の申し込みは9月6日（火）朝・校門で行われます。

近日中に各教室に案内が吊り下げられるので、参考にしなさい。

全学年対象です

★京都私立中高展：8月26日～8月28日 於：みやこめっせ 3F 10:00～17:00

※各校の最新情報やパンフレットなどが一度で集められます。